



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 — くしゃくしゃのお小遣い

これでジュースでも買え！と、祖母は会うといつも私にお小遣いを握らせる。いらん！いらん！と断っても最終的には祖母の勢いに負けて私はくしゃくしゃになったお札をポケットに入れる。

岸田奈美さんというエッセイストがおる。中学生の頃に父親が突然他界、その後母親は病気で車椅子生活、ダウン症の弟と認知症の祖母という家族構成でありながら毎日をユニークに生活しとる作家さん。岸田さんのある日の日記が私の胸を打った。うろ覚えやけど(あかんやん！)。

障害を持った弟は普段稼げる金額はわずかやけど、字を書く仕事が舞い込み生まれて初めて大きなお金を手に入れた。何が欲しいか聞いたら、母や姉の好きなものを買いたいと。そのとき初めて弟が自分のお金で大切な誰かに何かを贈れる幸せを味わった(というような)ことが書いてあった。

大切な人に何かをしてあげられる幸せ。受け取る側だけじゃなく、贈る側、与える側の幸せ。…断るの、やめよう。

おばあちゃん、ありがとう。好きなジュースをいっぱい買わせてもらおうよ。  
(テノヒラkiku)



本日！海日和！！ vol.141

### 「昼寝」

最近、昼寝が見直されている。昼食後に15分程度の仮眠をとると脳が活性化し、午後からの勉強や仕事ははかどるらしい。もっとも昼寝ができるような余裕のある生活を送っている人は少ないかもしれない。

魚は目を閉じることができないため、眠っているのか起きているのか分からない。「魚も眠るの?」と不思議に思う人が多いのもうなずける。もちろん魚も眠る。多くの魚は、砂の中や岩陰に隠れて眠る。そのときは、敵に見つかりにくくするためか、体の色が薄くなっている。

眠っているときは、最も危険な時間だが、大胆にも昼寝をする魚がいる。カワハギだ。砂地でダイビ



【砂地に横たわるカワハギ】

ングをしていると、砂地に横たわっているカワハギを見かける。体の色も薄くなり、死んでいるのかなと思って近づくと、ヨタヨタと起き出して逃げていく。

カワハギのように目を開けたまま眠ることができたら、長く退屈な会議も苦にならなのだが…。

(撮影地：瀬の島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる